

飼育試験と放流試験におけるクロソイ腹鰭抜去標識 の残存率の比較

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2024-08-06
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 野田, 勉, 中川, 雅弘, 長倉, 義智, 大河内, 裕之
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010495

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution 4.0 International License.



飼育試験と放流試験におけるクロソイ腹鰭抜去標識の残存率の比較

野田 勉・中川雅弘・長倉義智・大河内裕之

クロソイの腹鰭抜去標識の残存率は放流群の一部を継続飼育して得られる値で代替されてきたが、この手法の妥当性を検証した例はない。そこで腹鰭抜去と耳石 ALC の二重標識を施し、継続飼育した魚（飼育群）と市場に水揚げされた ALC を有する再捕魚（再捕群）の腹鰭抜去標識の残存率を比較した。その結果、飼育群と再捕群の残存率には有意な差は認められなかった。一方、両群の残存率の間には有意な相関が認められた。このことから、継続飼育で得られた腹鰭抜去標識の残存率を用いて回収尾数を正確に補正することができる。